宮崎大学
卒後臨床研修センター通信
Vol.28
2018年8月発行
発行：卒後臨床研修センター

宮大研修医、学会で優秀演題等を受賞！

学会名 日本内科学会ことはじめ
(平成30年4月13日～15日)
賞　名 優秀賞
演　題 冠攣縮誘発試験が陽性であったKounis症候群の1例

2年次 研修医
小川 宗一郎
（発表指導：宮崎大学 循環器内科）

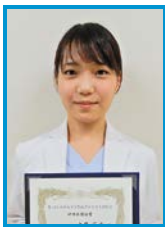
2年目研修医の小川宗一郎と申します。昨年度は大学内科を半年間、市中病院で外科や救急など半年間研修をさせていただきました。いずれの診療科、特に循環器内科では、先生方の熱いご指導と学会発表などの貴重な体験を積極的にさせていただき、とても感謝しております。知識はもとより医療に対する姿勢、考え方を大事にし、残りの研修も有意義なものにしたいと思います。

学会名 第91回日本内分泌学会学術総会
(平成30年4月28日)
賞　名 Clinical Endocrinology KO Rounds Winner
演　題 心臓弁膜手術後に意識障害で発見された原発性副甲状腺機能亢進症の1例

2年次 研修医
福島 理紗
（発表指導：宮崎大学 内分泌・代謝・糖尿病内科）

今回は普段の学会と異なり、経験症例を1枚のスライドにまとめ持ち時間3分で発表しました。スライド1枚でいかに印象付けるかを考え、改良を重ねました。本番では研修医が私一人であり緊張しましたが、ちょうど3分に収めることができ楽しんで発表できました。さらにこのような賞もいただき大変嬉しく思います。地元宮崎での総会開催で準備にお忙しい中、長きに渡り指導して下さった先生方、本当にありがとうございました。

学会名 第111回日本消化器病学会九州支部例会
(平成30年6月8日)
賞　名 研修医奨励賞
演　題 ACTH産生肺小細胞がんの肝転移による急性肝不全の一剖検例



2年次 研修医
上篠 苑子
（発表指導：宮崎大学 内科学講座 消化器血液学分野）

学会発表及び受賞につきまして、お忙しい中丁寧にご指導くださった先生方に心から感謝を申し上げます。本症例の患者さんの診療にあたっていた間は、自分にできることのあまりの少なさにもどかしい思いをするばかりでした。しかし、ご家族の同意をいただけて解剖までさせていただいたこと、また学会発表の機会をいただけたことで、より深くより発展した勉強ができ、とても幸せであったと感じています。

「宮崎県7基幹型臨床研修病院合同説明会」を開催！

6月7日（木）、宮崎大学医学部にて、6年生を主な対象としたマッチング登録に関する説明会と県内7基幹型臨床研修病院合同説明会を開催しました。

宮崎大学卒後臨床研修センターの小松センター長からマッチングの仕組みや登録方法に関する説明が行われた後、県内7基幹型臨床研修病院（県立宮崎/日南/延岡、古賀総合、宮崎生協、藤元総合、宮崎大学）から研修プログラムの概要や特徴の説明がありました。92名の参加者に対し、実際の研修の雰囲気や迫力が伝わる動画あり、研修医の生の声あり、研修コンセプトを全力で訴えかける魂のプレゼンありと、短時間ながらそれぞれの病院の特徴が十分伝わる素晴らしい内容でした。

「宮崎県専門研修合同説明会」を開催！

6月23日（土）、シーガイアコンベンションセンターにて、県内研修医や医学生を対象とした宮崎県専門研修合同説明会が開催されました。

宮崎県臨床研修・専門研修運営協議会と宮崎県地域医療支援機構、宮崎大学によるAll Miyazaki体制での説明会で、今年が3回目となります。会冒頭で、宮崎大学医療人育成支援センターの小松副センター長（同協議会副議長・機構専任医師）より新専門医制度のこれまでの経緯と昨年度の実施状況、全国と宮崎の結果分析等が説明されました。次に、県内6専門研修基幹施設より26プログラムのポイント解説が全体プレゼン方式で行われ、その後は各領域ブースに移っての個別相談となりました。説明会の懇親会は、150名を超える研修医と指導医が一体となって和気藹々とした雰囲気で催され、年齢や専門領域を超えた縦横のつながりがより親密になっている印象でした。

宮崎大学　臨床研修医の体験記

大学小児科ならではの経験がそこにある！

2年次 研修医　堀之内 みどり／徳田 温子
宮崎大学医学部附属病院　小児科にて研修

徳　田：1ヶ月間お疲れさまでした。
堀之内：ほんとにね！本当に楽しく研修できました！
徳　田：正直めちゃくちゃ楽しかったよねー！
何よりこどもたちがかわいい（笑）
堀之内：「せんせぇまたくる？」って言われた時はたまらなかったよね（笑）
患者さんの部屋に行く回数増えちゃう。
徳　田：頑張らないとって、ついつい張り切っちゃうよね。
堀之内：担当患者さんじゃなくてもプレイルームで遊んでる子たちに手を振っちゃたりするよね！研修に関しては、手技をたくさんさせてもらえたのがよかった！こどもの骨髄穿刺とか腰椎穿刺とかをたくさんさせてもらえるのは大学小児だけだと思う！
徳　田：確かに！すごく丁寧に教えて下さるから安心して挑戦できたかな。
堀之内：小児科って年齢で区切ってるからいろんな疾患が来るから、いろんな分野の疾患をみれるのもよかった！
徳　田：落ち込む時もあったけど、他の子に癒されたりしてまた頑張ろうって思える感じが小児科らしいなと思った。
堀之内：気持ちも疲れも癒してもらえるのは本当に嬉しかったなぁ。小児科はこどもたちもいて病棟も明るいけど、先生たちも明るくて元気な人が多い！「常にこどもからエネルギーもらってるから！」って言ってたけどその通りだと思った！
徳　田：元気をもらって帰ると仕事終わりの一杯も格別だよね！
堀之内：小児科って宮大の研修では必修になってるけど、どこで研修するにしても絶対に楽しいと思いますよ！

産婦人科の緊張と嬉しさ＝感動を実体験

大学の産婦人科では、産科、婦人科、NICUから自由に選択できます。私は産科と婦人科を1ヶ月ずつ選択しました。

中でも一番良い経験になったのは、帝王切開の執刀をさせて頂いたことです。手術前は緊張しましたが、先生のご指導のおかげで無事に赤ちゃんを取り上げることができました。新しい命の誕生に立ち会い、母子共に元気に退院していく姿を見るのは、病気の治療をするのとはまた違う感動がありました。また、自分で取り上げた子は特に可愛く見えて、1ヶ月健診で少し大きくなった姿を見られたのも嬉しかったです。

その他にも、産科ではエコーで胎児の計測をしたり胎児心拍数モニタリングを読んだり、経膣エコーや内診をしたりと初めての経験ばかりでした。また、婦人科では広汎例子宮全摘術や腹腔鏡手術等色々な手術に入ったり、化学療法や疼痛コントロールについて学んだり、とても勉強になりました。

臨床実習の時は先生方の質問に答えられず冷や汗ばかりだったので（すみません）、研修前は不安もありましたが、実際研修が始まると優しい先生方ばかりで温かく迎え入れて頂き安心しました。4階西病棟の看護師さんやクラークさん達も優しく、病棟の隅で寝ている赤ちゃん達も可愛くて癒されました。とても居心地が良く、楽しい2ヶ月でした。ありがとうございました。

2年次 研修医　猿渡 英美（下段 左から2番目）
宮崎大学医学部附属病院　産婦人科にて研修

レジナビ東京へチーム宮崎が出陣！
現場の目線から分かりやすく、宮崎の臨床研修の魅力を伝える伝道師の奮闘

今年も「レジナビフェア2018 in東京（7月15日・東京ビックサイト）」が開催され、本院も宮崎県内基幹型臨床研修病院とともに出展しました。３５名の学生さんに宮崎県ブースへお越しいただき、各病院の研修担当者、研修医から研修プログラム、研修の魅力等について説明を行いました。　（木許）

◀ 卒後臨床研修センター教員(木許助教)＆研修医が現場目線から、分かりやすく魅力を伝える

チーム医療の重要性を学び、児童に笑顔を！

6月から1か月間という短期間ではありますが、宮崎東病院の児童精神科にて研修をさせて頂きました。

この病院では他の病院で診断・治療に難渋した患者さんが受診することが多く、初診中、母親が涙ながらに子供のことを話し、藁にもすがる思いで来られたのだと思いました。この病院が宮崎の児童精神科の分野において最終的な受け皿になっているのだということを強く感じました。

ケース会議では医師、コメディカル、学校の先生達で数時間に渡って子供達への対応を話し合う時間が設けられています。本来、医療とは医師1人でできることには限界があり、医療スタッフ、そしてその周囲の人達が協力して始めて患者さんに最良の医療を提供できるのだということを強く認識させられました。

入院中の子供達と一緒にサッカーをする機会が多かったのですが、病棟では表情に乏しかった子が笑顔に満ち溢れている姿が印象的でした。

最後にこの場を借りて、自分に色々とご指導して頂いた橋口先生、赤松先生、井上先生、その他多くの医療スタッフの方々にお礼を申し上げます。皆様のおかげで充実した1か月間を過ごせたように思います。本当にありがとうございました。

2年次 研修医　福永 幹 (左から3番目)
独立行政法人国立病院機構
宮崎東病院　児童精神科にて研修

整った研修環境で循環器内科の醍醐味を学べる！

2年次 研修医　竹内 貴哉／畑田 紘志
都城市郡医師会病院　循環器内科にて研修

循環器に興味があろうとなかろうと何科に進むにしても、心エコーは必要なスキルである。輸液ひとつにしても心機能を把握していないと自らの手で患者さんを心不全へと導いてしまう。

そんなあなたにオススメなのは、都城市郡医師会病院循環器内科です。5件/日程度の心エコーを行い、そのデータを元に主治医が治療を行います。つまり、自分の心エコーによって患者さんの治療方針が変わってしまうのです。最初は皆苦手ですが、上級医が丁寧に指導してくださるので次第に上達していきます。定例カテーテル検査・治療に加え、急性心筋梗塞の緊急PCIも多く、循環器内科の醍醐味を味わうことができます。

また、循環器以外の内科疾患も担当でき、敗血症性ショックや痙攣重積といった多岐に渡る疾患をICUで管理することができます。上級医の先生方も優しく、丁寧に指導してくださり、病態や検査所見に対する考え方など非常に勉強になる毎日です。

衣食住足りねば仕事はできませんが、その点も全く問題ありません。スクラブ貸与！朝夕の検食付き(たまごやふりかけも充実)！！車で5分の距離に1LDK宿舎あり(家電完備)！！！と好待遇の環境の中で研修に打ち込むことができます。

都城市郡医師会病院の研修で他の研修医から頭ひとつ飛び出してみてはいかがでしょうか。

臨床実習終了納涼会＆全診療科合同説明会
宮大と医師の親睦を深め、診療科を知り、宮崎の一体感を醸成

⊙ 卒後臨床研修センター教員（坪内助教）による協力アテンド！

7月19日（木）にキャリアデザインサポート委員会主催、卒後臨床研修センター・医療人育成支援センター共催の「臨床実習終了納涼会＆全診療科合同説明会」が開催されました。

医学科6年生81名、全診療科54名が参加し、今回で5回目を迎えたこの会。6年生と全診療科が一同に会し、臨床実習の終了を互いに労うとともに、各診療科の魅力を伝える合同説明会が行われました。各診療科の趣向を凝らしたプレゼンテーションに、会場は大いに盛り上がりました。

第7回 そつごのそのご

医療法人秀英会　英医院
大野　妙子　副医院長
（H21年度研修修了）

はじめまして！大野妙子です。愛知医科大学を平成20年に卒業し、宮崎大学卒後臨床研修プログラムを経て、第一内科の消化器グループへ入局し、現在は父親の跡を継いで、串間市大束の英医院で開業医をしております。

研修の思い出としては、臨床研修ガイダンスの時に、人形を使った点滴の練習で、なぜか自分に対して針刺し事故？を起こしたことです。それからも、研修医時代はヘマばかりしておりました。「ラキソベロンはお味噌汁に入れてください。」との謎の指示を出し、お味噌汁の無い日の病棟看護師さんを困らせたこともありました…。

そんな私でしたが、一内科に入局し、多くの先生方からご指導頂き、なんとか医師を続けております。入局の決め手となったのは、先輩医師の「カメラができるといいよ。一人でできるし。女医さんにも向いている。」でした。現在、一日数名の経鼻内視鏡検査を行っています。外来を行いながら、初期の胃癌などを発見し、宮大消化器内科にてESD加療をして頂き、その後健康に過ごされている方々を診ていると、カメラができてよかったなぁと心から思います。

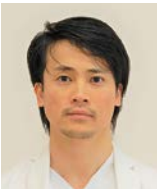
現在の私ですが、小学生と幼稚園児、2児の母となりました。毎日あっという間に時間が過ぎます。

女医さんは働き盛りでの出産や育児など、色々と大変だと思います。育児中などでアルバイトだけしたい、という時も胃カメラなどできると選択肢が増えるかと思います。消化器内科、おすすめですよ！もちろん男性医師にも！

副センター長挨拶　宮内　俊一 先生
（卒後臨床研修センター副センター長）

平成30年4月より副センター長を拝命いたしました宮内俊一と申します。2003年に旧宮崎医科大学を卒業し、現在、膠原病・感染症内科の一員としても勤務しております。当院の研修プログラムは様々なバリエーションを持った研修システムを初期研修医の皆さんに提供しています。そして研修医の皆さんのライフスタイルやキャリアプランも様々だと思います。どうか様々な選択肢に触れあって“自分の理想像にいちばん近い生き方は何か？”を模索していってほしいと思います。研修医の皆さんの良き道標になりたいと思っています。よろしくお願いいたします。

新センター教員挨拶　三宮　一朗 先生
（内科担当）



卒後9年目、大学病院消化器内科で働いています。平成30年5月から卒後臨床研修センター所属となりました。佐賀大学出身ですが、趣味であった波乗りが目的で宮崎大学での研修を選び、現在に至ります。研修医の皆さんは慣れない職場を転々と異動する為、ストレスも多いと思います。私が研修医の時もそうでしたが、小松先生をはじめとした研修センタースタッフの方々のフォローで無事、研修を修了できたと思います。

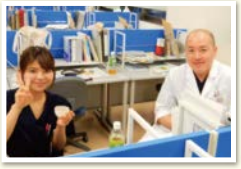
私も今の研修医の皆さんの力になれれば幸いです。みなさんどうぞよろしくお願いします。

新研修医の声

Voice
1年次医科
吉村 遥香

1年次研修医の吉村と申します。始めの2ヶ月間都城で研修させていただき、6月から宮崎大学に来ました。研修が始まって4ヶ月が経とうとしています。4ヶ月前よりも出来る事が増えて来ていることを実感し、嬉しく思います。ご多忙の中でも熱心にご指導してくださる素敵な先生方と、そしてスタッフの皆さんや患者さんのおかげです。

まだ先生方に頼りきっているところも多いですが、日々成長していきたいと思います。



Voice
1年次歯科
濱本 周一
（写真：右）

児湯郡川南町出身の濱本といいます。高鍋高校を卒業後に宮崎県を離れてしまいましたが、約20年ぶりに宮崎県に戻ってきました。神奈川県でずっと食品関係の仕事をしていましたが、歯科医師になる為に神奈川県の鶴見大学歯学部に入り、縁あって宮崎大学で臨床研修を行っています。清武町での生活もだいぶ慣れてきて、あらためて宮崎県の素晴らしさを実感しています。卒後臨床研修センター長の小松先生をはじめ、たくさんの方に支えられて充実した研修医生活を送っています。2年間という限られた時間ですが、全力で頑張るつもりですので、ご指導よろしくお願いします。

行事案内（8月～12月）

8月	13日(月)	第1回　医師臨床研修マッチング面接
	16日(木)	第1回　歯科医師臨床研修マッチング面接
	27日(月)	第2回　医師臨床研修マッチング面接
	30日(木)	第2回　歯科医師臨床研修マッチング面接
9月	6日(木)	第3回　歯科医師臨床研修マッチング面接
	13日(木)	第4回　歯科医師臨床研修マッチング面接
10月	18日(木)	医師臨床研修マッチング決定
	23日(火)	歯科医師臨床研修マッチング決定
12月	1日(土)	研修ローテート選択説明会
	15日(土)・16日(日)	指導医のための教育ワークショップ(宮崎市)

連絡先
宮崎大学医学部 学生支援課
卒後臨床研修係　内線2385/2386
〒889-1692　宮崎県宮崎市清武町木原5200
TEL0985-85-1864　FAX0985-85-0693
E-mail:sotugo@med.miyazaki-u.ac.jp